

PEGALOCK

ペガロック

#9176

透明変性アクリレート系接着剤

ペガロック(#9176透明色)は
変性アクリレートモノマー(単量体)を主成分とした
2液型変性アクリレート系接着剤です。

特長

- ① 接着力が優れている
鉄・SUS・アルミ、その他金属、セラミックスなど強力に接着
- ② セットタイムが速い
5~10分(常温)で固着
- ③ 耐熱・耐久性に優れている
80°C放置で接着面が黄変しない
- ④ 接触反応(ハネムーン硬化)が可能
二液を接触するだけでハネムーン硬化 *裏面参照
- ⑤ 異種材料の接合が可能
金属と樹脂基材など異種材料の接着が可能
- ⑥ 前処理が簡単
接着面に多少の油分が残っていてもウエス拭きする程度で 実用強度が出ます。

■製品ラインナップ

- 50 gカートリッジ
- 200 gセット
- 2Kgセット

※その他容量ご相談ください。

- アPLICエーターガン
Gタイプ (50 gカートリッジ用)
- スタティックミキサーMAH04-17S
(50 gカートリッジ用)



■性状

	ペガロック#9176	
	A剤	B剤
主成分	アクリル変性物	アクリル変性物
外観	透明粘性液	透明粘性液
粘度(mPa・s/23°C)	11,000	13,000
ポットライフ ^{23°C} (分)	2.5	
セットタイム ^{23°C} (分)	6.0	
引張剪断強度(N/mm ²)	33.5	

粘度：BM型、30rpm
テストピース：鋼/鋼

■各種被着体での接着強度

23°C・50%RHにて接着・24時間養生後、強度測定

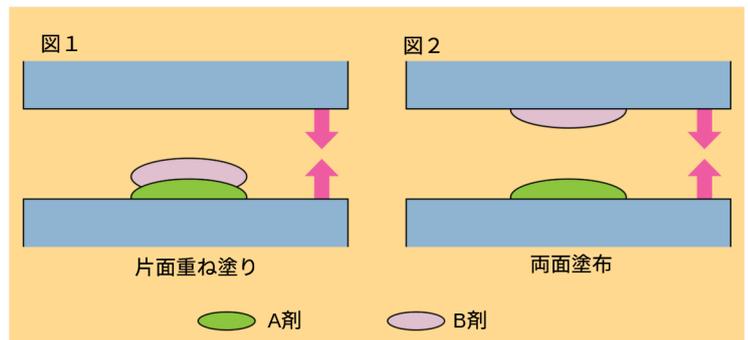
試験項目及び被着体	ペガロック#9176
アルミ	19.1
SUS304	33.8
アクリル (PMMA)	8.0*
ポリカーボネート	8.6
FRP (ポリエステル)	2.1
FRP (エポキシ)	3.4
ABS	7.4*
塩化ビニル	6.3*

金属被着体はサンドブラスト後アセトン脱脂して使用。樹脂被着体はメタノール脱脂して使用。FRP (ポリエステル) はゲルコート面同士貼り合わせ。

*は材料破壊

ハネムーン硬化を利用した使用方法

- ① 接着面のホコリ、汚れ、錆などを取り除く。油分を溶剤で脱脂処理することにより強度が増します。
- ② 接着面の片方にA剤とB剤を重ねるように塗布 (図1) するかまたは、接着面の片方にA剤、もう一方にB剤を別々に塗布 (図2) する。
- ③ 接着面を貼り合わせた後、部材をすり合わせ接着剤を押し広げるようになませる。
- ④ 接着する位置を確認し接着面が密着するよう錘またはクランプで圧締する。



《取り扱い上の注意》 1. ご使用前に、必ず安全データシート (SDS) をお読みください。 2. 火気のないところで使用し、換気をよくしてください。 3. 取り扱い中は、適切な保護具を着用してください。 4. A剤とB剤を大量に混合することはやめてください。発熱したり有害蒸気が発生し危険です。 5. 接着以外の用途には使用しないでください。 6. 容器からこぼれた場合には布等で拭き取り、密閉容器に回収してください。 7. アレルギー体質・特異体質の方は作業しないでください。

《保管及び廃棄方法》 1. 直射日光を避け、冷暗所 (5~23°C) で保管してください。 2. 容器は中身を使いきってから産業廃棄物として処理してください。

CREATE A NEW FUTURE
新興プラスチック株式会社

本社 東京都江東区南砂1-5-24 TEL: 03-3645-8106 FAX: 03-3645-5322
大阪支社 埼玉支社 城西支店 北関東営業所 滋賀支店 福岡営業所 京橋ショールーム 上海 タイ



製造元：高圧ガス工業株式会社 大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル28階